



六郷中だより

六郷中学校だより 第16号

令和 4年 2月18日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



感染がまん延している今、必要な対策！

立春から2週間が過ぎ、長くなった日脚やあちこちに咲く梅の花にも、すぐそこまで来ている春を感じるようになりました。しかし、時折吹く風はまだ冷たく、寒の戻りへの辛抱が、もう少し続きそうです。

山梨県内の新型コロナの感染状況が悪化しています。2月になり減少傾向に転じたようにも思いましたが、一昨日の2/16には、県内の感染者数は過去2番目の多さの405人が発表され、昨日2/17までの5日間においては、前週同曜日から連続しての増加となっています。2月の感染者数も、昨日までに計4911人となり、月半ばで過去最多だった1月の計4154人を超えています。ちなみに、本日2/18の12時現在、県内において310人の幼保園児から小中高生が感染していると集計されています。

このように、県内において新型コロナの感染のまん延が拡大している状況では、六郷中の生徒、もしくは教職員さらには、そのご家族を含めて、今後、いつか、誰かが新型コロナに感染することや、登校もしくは出勤してから感染が判明し、更なる感染の拡大を心配しなければならないことも想定せざるを得なくなりました。

つきましては、これからの年度末に向けては、高校入試(3/3)や卒業式(3/10)など、代えがたい行事が予定されております。1年間のまとめや進級・進学に向けて、生徒たちが安心して学校生活が送れますよう、また、校内における感染の拡大が最小限に抑えられますよう、私たち教職員も含めて、

次の3つが『感染がまん延している今、必要な対策』と考ます。

ぜひともご理解とご協力を、お願いいたします。

「マスクの確実な着用」をお願いします。

- マスクの密着させての着用が、集団生活での新たな陽性者や濃厚接触者の発生を防ぎます。
- 可能であれば、ウレタンよりも飛沫が通りにくいとされる不織布のものを推奨します。

本人もしくはご家族に少しでも「かぜ症状があるとき」は登校できません。

- あくまでも自己申告をお願いしていますが、出席停止は学校からの指示とご理解ください。
- 毎朝の保護者との健康確認とチェック表への記入が、登校してからの感染判明を防ぎます。

体調がすぐれないときは「できるだけ早い受診」をお願いします。

- 医師の判断で、PCR検査や抗原検査を受けることになったときや、その検査結果はできるだけ早く連絡をお願いします。
- 万が一、陽性が判明した場合は、学校生活における濃厚接触者の有無や、学級閉鎖等の対応の検討を迅速に行い、感染拡大防止の対策・対応の判断、ならびに保護者の皆様への連絡と周知を行います。
- 花粉症などのアレルギーはかぜ症状とよく似ているため、自己判断せずに受診をし、医師の判断を仰いだ上、症状を抑えるなどの適切な対応をしていただくようお願いいたします。

ご理解とご協力をお願いいたします。